

## マイベすとしよっと

### タイトル：丹原文化会館の藤棚

丹原文化会館の入口にある公園に数十メートルに渡って咲いている枝垂れ藤を撮影しました。
一带は花の甘い香りに包まれ、紫色の花が綺麗に咲き誇っていました。

(投稿者：丹下 武文)



この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、共同で作成したものです。

6月は夏服への衣替え時期です。昔の衣替えといえば、冬物・夏物をそれぞれケースにしまい、春や秋に一斉に切り替える。そんな光景が思い浮かびますが、最近では気温のばらつきが原因で衣替えのタイミングに悩まれることもあるかと思えます。寒暖差が大きくなる時期ですので、気温が急に高くなる日もあり、体調を崩しやすくなりますので気を付けてお過ごしください。（支援センター 高木）

## 令和6年度障がい者パソコン講座のご案内

西条市障害者相談支援センターでは、障がいのある方を対象にパソコン講座を開催します。パソコン技術を得るだけでなく、参加者同士の交流も目的とした講座です。興味のある方は、一緒に勉強してみませんか。

日程：令和6年7月～令和7年3月 第2、第4金曜日（全18回）

時間：14時00分～16時00分

令和6年 7月	12日	26日
8月	9日	23日
9月	13日	27日
10月	11日	25日
11月	8日	22日
12月	13日	※20日
令和7年 1月	10日	24日
2月	14日	28日
3月	14日	※21日

パソコンの基本的な操作を学ぶ講座ですので、初心者の方も大歓迎です。それぞれのペースに合わせて、受講生と講師と一緒に学び合う講座をめざしています。お気軽にご参加ください。

対象者：在宅障がい者 10名程度 ※申し込み多数の場合は抽選

パソコンを持参できる方に限ります。

内容：ワードやエクセルの基本操作、名刺・年賀状づくりなど

講師：障がい当事者グループ オンリーワン

費用：受講料無料（テキスト代等として1000円程度の実費負担）

場所：西条市東予福祉センター2階 創作活動室

申し込み締切り：令和6年6月28日（金）

※12月と3月の第4金曜日は、12月20日と3月21日に実施します。

※都合により、日程や内容に変更がある事を予めご了承ください。

連絡先：西条市障害者相談支援センター ☎0898-64-2600 高木

## 私のつぶかき

山の木々ももりもりと爽やかな新緑の季節になりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。桜を始め色とりどりの花や旅行を楽しんだ方もいらっしゃると思います。私は母や友人と連れ立って周ってきました。その中でたまたま行った場所で素晴らしい景色に出会う事が有りました。

1つはダム放流と桜のコラボ。小さなダムですがゴウゴウと水が流れ落ちる場面に出くわすのはラッキーでした。2つめは、これまた山間の小さな神社の前にある立派な枝垂れ桜。地域の方々に守られているらしく小川のせせらぎと風に揺れる花枝がなんとも言えぬひと時を与えてくれます。残念ながら動画で撮影したので画像は載せませんでした。

3月には友人の住む奈良へ出掛けました。日中は、得意の気の向くままにぷらぷら散策。知らない街で偶然出くわすお店や風景。夜は行って見たかったライブ。翌朝、殆ど観光客のいない奈良公園を散歩中に見た神のお使いの鹿たち。あー楽しくてしょうがない。まだまだ行き足りない2日間でした。そんな春を満喫したのでした。これから夏へと季節は移ります。暑さ対策もしながら日々ちょっとした出逢いのタイミングをキャッチして心地よい夏を過ごせますように願っています。

今回も読んでくださってありがとうございます。



奈良公園の鹿

(オンリーワン 菅 桂子)

## 編集後記

今号も皆さまの協力のおかげで発刊することができました。障がい者パソコン講座は堅苦しい雰囲気はないので、ご興味を持たれた方は、ぜひお問い合わせください。当事者奮闘記の黒河貞雄さんですが、障害者団体連合会東予支部で色々なことにチャレンジされているのが素晴らしいと思いました。

投稿コーナーの龍の絵やバストショットの藤棚の写真も良いなと思いました。これから暑い季節になります。皆様ご自愛ください。今号もありがとうございました。（オンリーワン 黒河 亮）

発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布606番地1 西条市東予総合福祉センター内

TEL：0898-64-2600 (代) FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan2-saijo@saijoshakyo.or.jp



## イラストコーナー

題名 僕の好きな花

作者 山内 慎介

この絵を見てくれた人を楽しんでもらえるようにカラフルな色を使って頑張って描きました。



## 当事者の奮闘記 未来への足跡



今回、取材させていただいたのは西条市三津屋在住の

### 黒河 貞雄さん（76歳）です。

障がい者になったのは31歳の時でした。勤めていた染色工場で工作中、機械に袖口が巻き込まれる事故に遭い、左前腕を失ってしまいました。病院に入院してから、自分の不注意を悔んだり、これからの生活がどのようなになるのか想像もできず混乱されたそうです。

医師の治療や、家族の介護に支えられ、少しずつ回復するなかで、黒河さんも「妻子がいて、二人目の娘も生まれたばかり、今から子どもにお金が必要になるのにどうしようか。家族の為に自分が頑張らなくて働かないといけない」と考えられ、リハビリを頑張られたそうです。病院を退院してからは、勤めていた会社に職場復帰することができました。職場の理解もあり仕事内容を配慮してもらい50代まで勤続することが出来たそうです。

西条市障害者団体連合会東予支部の活動に関わるようになったのは、40代の時に知人から誘われて参加されたのがきっかけでした。平成18年に入会して理事や支部長の役につかれ、現在まで長く西条市障害者団体連合会の活動に尽力されてきました。東予支部では約60名の会員が年間5回程度みんなで集まり、フライングディスクやグランドゴルフなどの運動をしたり、カラオケ大会や日帰り旅行などを行っています。

西条市障害者団体連合会では障がい者と健常者がスポーツを通じてふれあいを深めるために毎年、ビバ・スポルティアで西条市ふれあい運動会を主催されています。



日帰り旅行での食事会



サークル活動でバウンドテニスをしています。

地域での活動にも積極的に参加されていて、三芳公民館のサークル活動でバウンドテニスを楽しまれています。

今後の目標は西条市障害者団体連合会の活動に参加してくれる仲間を増やし、障がい者のみんなが集まって楽しく過ごせる機会や、気軽に話し合え、日常生活での困りごとを相談できる機会を設けることができるようにしたいと話されていました。

### 取材後記

黒河さんは温厚な人柄で気さくに話やすく、皆さんから慕われています。長年活動に尽力され素晴らしいです。自分自身も同じ丹原支部長として東予支部での活動内容を参考にさせてもらって、今後の活動に活かしていきたいと思います。ありがとうございました！（オンリーワン 柳瀬 修二）

## 投稿コーナー

題名：まぼろしの龍

作者：真部 信輔



今年は辰年ということもあり、自分が好きな龍の絵を描きました。空想の世界の動物なのでイメージを膨らまして、顔を強そうに描くのに苦労しました。

